

令和5年10月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は2,047億円（対前年同月比6.0%の減少、比率ベース：2ヵ月ぶりの減少）、輸入総額は1,114億円（同19.6%の減少、7ヵ月連続の減少）であった。差引額は933億円（同17.7%の増加）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「自動車の部分品」、「二輪自動車類」などが増加したものの、「原動機」、「加熱用・冷却用機器」、「電気計測機器」などは減少した。
輸入は「科学光学機器」、「事務用機器」などが増加したものの、「がん具及び遊戯用具」、「魚介類及び同調製品」、「金属鋳及びびくず」などは減少した。

地域別では、輸出は「アジア」、「アメリカ」、「EU」が減少した。輸入は「アジア」、「EU」が減少、「アメリカ」は増加した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	2,047億円	▲6.0%	1,114億円	▲19.6%	933億円	+17.7%
	2ヵ月ぶりの減少		7ヵ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	225億円	+45.4%	輸入	増加品目	(1) 科学光学機器	40億円	4.2倍
		(2) 二輪自動車類	207億円	+16.2%			(2) 事務用機器	16億円	2.1倍
		(3) 金属鋳及びびくず	9億円	4.1倍			(3) 医薬品	13億円	+70.7%
	減少品目	(1) 原動機	302億円	▲10.8%		減少品目	(1) がん具及び遊戯用具	8億円	▲90.4%
		(2) 加熱用・冷却用機器	35億円	▲46.1%			(2) 魚介類及び同調製品	125億円	▲29.3%
		(3) 電気計測機器	25億円	▲49.1%			(3) 金属鋳及びびくず	5億円	▲90.5%
主要地域増減	アジア、アメリカ、EUが減少			主要地域増減	アジア、EUが減少、アメリカは増加				

（参考）ドルレートは、148.88円（前年同月比2.6%、3.79円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	12億円	+62.9%	26億円	+85.9%	▲14億円	2.1倍
	2ヵ月連続の増加		5ヵ月ぶりの増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 電気計測機器	655百万円	5.7倍	輸入	増加品目	(1) 有機化合物	421百万円	全増
		(2) 写真用・映画用材料	280百万円	+41.8%			(2) 肥料	281百万円	全増
		(3) 有機化合物	47百万円	全増			(3) とうもろこし	576百万円	+93.6%
	減少品目	(1) 精油・香料及び化粧品類	44百万円	▲75.8%		減少品目	(1) 無機化合物	67百万円	▲59.7%
		(2) 金属鉱及びくず	—	全減			(2) 魚介類及び同調製品	22百万円	▲66.4%
		(3) プラスチック	29百万円	▲25.7%			(3) 非金属鉱物製品	12百万円	▲40.5%
主要地域増減	アジア、EU、アメリカが増加				主要地域増減	アメリカ、EUが増加、アジアは減少			

3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	442億円	+47.1%	30億円	+2.6%	412億円	+51.9%
	13ヵ月連続の増加		4ヵ月ぶりの増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	283億円	2.4倍	輸入	増加品目	(1) 調製石油添加剤	429百万円	+8.1%
		(2) 自動車の部分品	46億円	+15.4%			(2) 精油・香料及び化粧品類	6百万円	+16.0%
		(3) 電気計測機器	298百万円	2.1倍			(3) 木製建具及び建築用木工品	133百万円	+0.1%
	減少品目	(1) 原動機	810百万円	▲38.1%		減少品目	(1) 鉄鋼	345百万円	▲52.2%
		(2) 楽器	37億円	▲8.8%			(2) 染料・なめし剤及び着色剤	—	全減
		(3) 運動用具	170百万円	▲64.9%			(3) 有機化合物	135百万円	▲52.5%
主要地域増減	EU、アジア、アメリカが増加				主要地域増減	EUが増加、アジア、アメリカは減少			

4. 静岡空港

輸出入実績なし